

WYROWSKI

VirtualLab FUSION

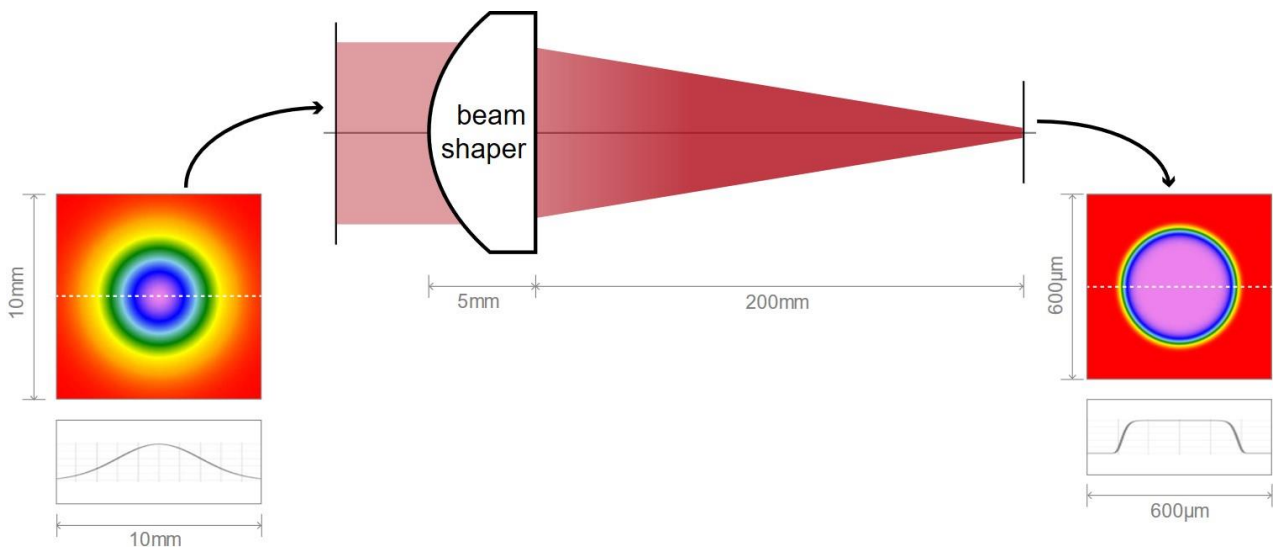
FAST PHYSICAL OPTICS SOFTWARE

屈折型ビーム整形素子の設計

屈折型ビーム整形素子は、いくつかのレーザー関連アプリケーションにおいて、非常に興味深いものである。例えばレーザー加工では、レーザービームはターゲット面で均一な強度分布（トップハットのような）であることが求められます。

VirtualLab では、屈折型ビーム整形素子はユーザーフレンドリーなワークフローで設計することができ、設計結果は製造の際に最も一般的に使用されるフォーマットで、直接エクスポートすることが可能です。

円形トップハットを生成する屈折型ビーム整形素子の設計

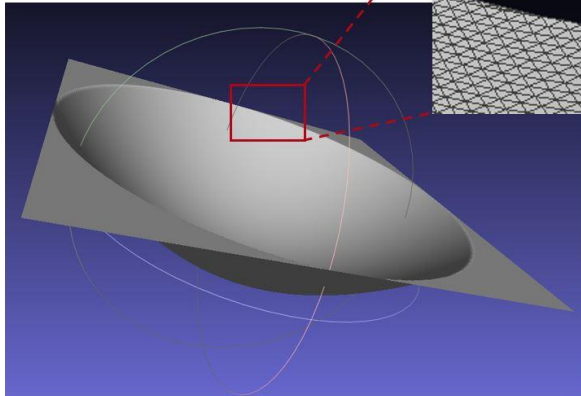


VirtualLab のユーザーフレンドリーな設計ツールを使用して、基本ガウシアンビームをトップハットプロファイルに変換する屈折型ビーム整形素子を設計、解析します。

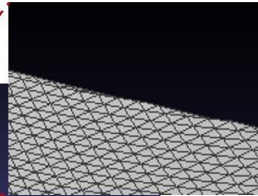
[詳しくはこちら](#)

製造データのエクスポート

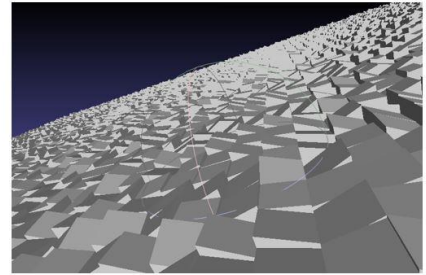
VirtualLab can export smooth and quantized interfaces, as well as mirror/prism/grating cells arrays into various file formats.



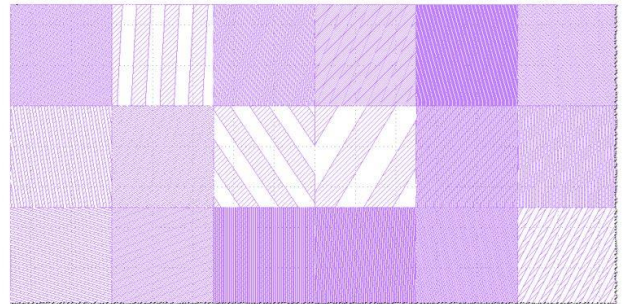
STL export of an aspherical interface
(illustrated by MeshLab)



interface is described by triangles



STL export of a prism cells array



GDSII export of a grating cells array
(illustrated by KLayout)

VirtualLab では、ミラー/プリズム/グレーティングセルズアレイだけでなくスムージングや量子化されたインターフェイスも、以下のような様々なフォーマットでエクスポート可能です: STL、GDSII

[詳しくはこちら](#)

☆無償トライアル版、トレーニングのお問い合わせは下記までお知らせください

株式会社プロリンクス

営業部 VirtualLab 担当

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町 17 番地 SIA 神田スクエア 3 階

Tel: 03-5256-2053 / Fax: 03-5256-2272

Email: virtuallab@prolinx.co.jp

URL: <https://www.prolinx.co.jp/virtuallab/>



Prolinx
Corporation